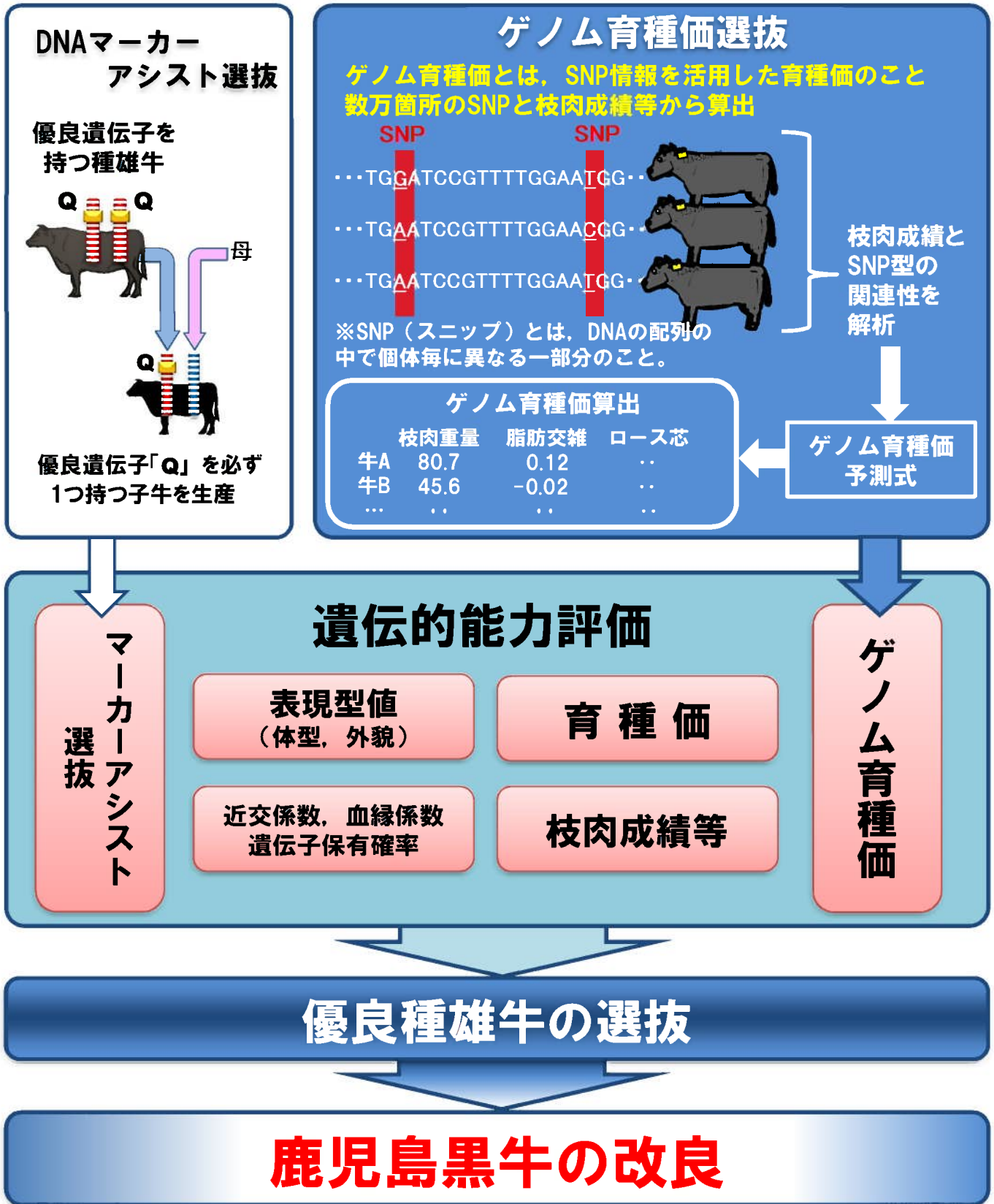


家畜DNA育種手法の開発

当所では、肉質や枝肉重量などに関するDNA情報を解析し、種雄牛造成に活用しています。



●不良遺伝因子の排除

現在、黒毛和種で遺伝子診断が可能な遺伝病には次のものがあります。

B3 (バンド3欠損症)、**CL16** (クローディン16欠損症)、**CHS** (チェディアック・ヒガシ症候群)、**MOD** (眼球形成異常症)、**F13** (第13因子欠損症)、**MCSU** (モリブデン補酵素欠損症)、**MSHR** (メラニン細胞刺激ホルモン受容体)、**IARS** (IARS異常症)、**FMA** (前肢帯筋異常症)

※当所で供用している種雄牛では、「福隆栄」がIARSの遺伝子を保有しています。